



☆人生の選択！「君はどちらの道を選ぶ？」☆

今、あなたの目の前に2つの道があります。左は、レッドカーペットがしかれた楽しそうな道。右は、イバラの道。あなたは当然、左のレッドカーペットの道を歩きたいですよね？でも、次の情報を得たら、どうでしょう？

左の道は1キロ、レッドカーペットが続いた後で、その後の99キロはイバラの道が続くんです。いっぽうの右の道は、最初の1キロはイバラの道だけど、その後の99キロは楽しいレッドカーペットの道が続きます。それならあなたは「やっぱり右の道にしようかな」って考え直すんじゃないでしょうか。

でも、現実には、みんな左の道を選んでしまいます。最初が楽しそうな道を、ね。なぜかって？だって、目の前に1キロもレッドカーペットがあったら、その先なんて、見えないじゃない？1キロから先は、イバラの道になっているなんて、神様の視点じゃないと見えないわけです。真上から、つまり高いところから見て初めて、合理的な判断ができるわけなんです。じゃあ、どうやったらそういう判断ができるようになるでしょう？実は、かんたんな方法があります。それは、「イケてる大人」に聞いてみることです。

「今、どちらの道を行ったら、1キロより後が、楽しい道なのか？」

だいたい「今、周りのみんな（友達）がやっていること＝左の道」が不正解なんですよ。それは「イケてない大人がやってきたこと」でもあります。

「バクノビ」坪田信貴著/KADOKAWA



今、楽な道を選ぶか、後で楽を選ぶかということですね。昔からよく使われている言葉に「若いときの苦労は買ってでもせよ」というのがあります。これは、失敗の受け止め方や対処の仕方を早い段階で学ぶことで、成功する可能性を高めるといことです。失敗を恐れずに、どんどんチャレンジしていきましょう！アニメ「ドラえもん」で、のび太君のパパ「のび助」が、のび太君に向かって言った言葉を紹介しましょう。



いつもそうだが、きみのやってることをみていると・・・、嫌なこと、めんどくさいこと、苦しいことから逃げようとはばかりしてる。楽な道ばかり選んだがっている。ちょうど、水が低いとこ低いとこ流れていくように。それじゃいけないんだ。気がついてみたら、どん底まで落ちてたなんてことになる。

人生とは、重い荷物をもって坂道をのぼるようなもの・・・といった人がいる。人生にはいつも向かい風が吹いている・・・といった人もいます。『かん難汝を玉にす』ということばを知ってるか。苦し

み悩んでこそ、りっぱな人間になれるという意味だ。『われに七難八苦をあたえたまえ』と、月に祈った人を知っているか。山中鹿之助というサムライだ。自分をうんと辛いめにあわせてくださいと祈ったのだ。『憂きことのおこの上につもれかし限りある身の力ためさん』という歌知ってるか。悩みごとよやってこい。自分の力には限りがあるが、精一杯がんばるぞ！という意味だ。昔の人は、こうして強くたくましい自分を育てあげた。きみも男ならやってみろ！逃げたりしないで。辛いこと苦しいことに、ドンとぶつかっていき！

ちなみに、ドラえもんもこんな言葉をのこしています。「きみは勘違いしてるんだ。道を選ぶということは、必ずしも歩きやすい安全な道を選ぶってことじゃないんだぞ」と。どっちが楽かで選ぶのか？どっちが成長できるかで選ぶのか？選択権は自分にあります。未来の自分をつくるのは、今の自分の選択です。自ら進んでイバラの道を選ぶ人に、レッドカーペットの道が続くのでしょね。